

教科	社会	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界と日本の地域構成	11	①緯度と経度、世界各国との時差などを基に世界と日本の地域構成を大観し理解させる。 ②世界と日本の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や周辺の海洋の広がりなどに着目して多面的・多角的に考察させる。 ③世界と日本の地域構成について、そこで見られる課題を主体的に追究させる。	緯度と経度、世界各国との時差などを基に、世界と日本の地域構成を大観し理解している。	世界と日本の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や周辺の海洋の広がりなどに着目して多面的・多角的に考察している。	世界と日本の地域構成について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
人々の生活と環境	8	①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然から影響を受けたり、その場所の自然に影響を与えたりすることを理解させる。 ②世界各地における人々の生活の変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然などに着目して多面的・多角的に考察させる。 ③世界各地の人々の生活と環境について、そこで見られる課題を主体的に追究させる。	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察している。	世界各地の人々の生活と環境について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界の諸地域	16	①ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解させる。 ②ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③世界の諸地域について、そこで見られる課題を主体的に追究させる。	ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。	世界の諸地域について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
歴史の捉え方・調べ方	3	小学校で学習した歴史上の人物などについて振り返り、年表に整理する作業を通して、時代の特色や歴史の移り変わりへの興味や関心を高める。時代区分の方法や年代の表し方を身に付ける。	・課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味についての基本的な内容を理解している。 ・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目しながら、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察している。	私たちと歴史の活動を通して、歴史学習に向けて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

原始・古代の日本と世界	15	人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことや、宗教がおこったことを理解する。 日本列島で狩猟・採集を営んでいた人々の暮らしについて考える。 天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展していったことを理解する。	世界の古代文明のおこりを基に、考古学の成果をはじめとする諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめ、世界各地で文明が築かれたことを理解している。 国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。	世界の古代文明の特色や宗教のおこりについて多面的・多角的に考察している。 農耕の広まりによる人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察している。	7～8世紀の世界の動きや律令国家が形成されていく過程について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展し、日本独自の文化が生み出されたことについて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
中世の日本と世界	13	武士や民衆の活力を背景に生まれた新たな社会や文化の特色について考える。 南北朝の争乱や室町幕府の成立について、東アジア世界との密接な関わりとともに理解する。 室町文化には禅宗の影響や現在との結びつきがみられることに気づく。	武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立したことなどを理解している。 武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。	武士の政治への進出と展開や、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の特徴について多面的・多角的に考察している。 民衆の成長が社会に与えた影響について多面的・多角的に考察している。	武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、そこで見られる課題を主体的に追究している。
近世の日本と世界	18	ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的を理解し、それが日本の社会に及ぼした影響について考える。 織田信長・豊臣秀吉による全国の統一事業やについてとらえ、近世社会の基礎がつくられていったことを理解する。	世界の動きと統一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について理解する。	交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察する。	信長・秀吉による統一事業により、近世社会の基礎がつくられていったことについて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 産業の発達、教育の普及と文化の広がり、農村の変化、江戸幕府の政治改革など、日本の近世社会の発展と変化について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
日本の近代化と国際社会	21	近代社会を成立させた欧米諸国が、新たな市場や原料の供給地を求めてアジアに進出したことについて考える。 幕末の開国と、その政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関わりから理解する。	欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について理解する。	工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察する。	欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ、アジアへ進出していったことについて、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、立憲制の国家が形成されたことについて、主体的に追究しようとしている。

教科	社会	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界と比べた日本の地域的特色	7	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追求したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。	日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を、地域の共通点や差異、文王などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。
日本の諸地域/地域のあり方	28	(1)自然環境(2)人口や都市、村落を(3)産業(4)交通や通信(5)その他の事象の考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通じて、(1)～(5)の資質・能力を身に付けることができる。	幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。	日本の諸地域について、それぞれ左の(1)～(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。	日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見つけられる課題を主体的に追求しようとしている。
中世の日本と世界	17	武士や民衆の活力を背景に生まれた新たな社会や文化の特色について考える。 南北朝の争乱や室町幕府の成立について、東アジア世界との密接な関りとともに理解する。 室町文化には禅宗の影響や現在との結びつきがみられることに気づく。	武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立したことなどを理解している。 武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。	武士の政治への進出と展開や、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の特徴について多面的・多角的に考察している。 民衆の成長が社会に与えた影響について多面的・多角的に考察している。	武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、そこで見られる課題を主体的に追究している。
近世の日本と世界	22	ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的を理解し、それが日本の社会に及ぼした影響について考える。 織田信長・豊臣秀吉による全国の統一事業やについてとらえ、近世社会の基礎がつくられていったことを理解する。	世界の動きと統一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について理解する。	交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察する。	信長・秀吉による統一事業により、近世社会の基礎がつくられていったことについて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 産業の発達、教育の普及と文化の広がり、農村の変化、江戸幕府の政治改革など、日本の近世社会の発展と変化について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

日本の近代化と国際社会	31	近代社会を成立させた欧米諸国が、新たな市場や原料の供給地を求めてアジアに進出したことについて考える。 幕末の開国と、その政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関りから理解する。	欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について理解する。	工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察する。	欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ、アジアへ進出していったことについて、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、立憲制の国家が形成されたことについて、主体的に追究しようとしている。
-------------	----	---	---	--	--

教科	社会	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
二度の世界大戦と日本	14	二つの大戦の背景とその影響の動きを捉えるとともに、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。 近代(後半)の日本と世界を大観し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。	それぞれの大戦の原因・経過・結果について、正しい知識を得ると共に、その中での民衆の生活がしっかり理解できている。	資料などから、適切な情報を読み取り、「第二次世界大戦中のヨーロッパ」「太平洋戦争」を用いて、戦争の拡大の様子を読み取っている。	二つの大戦について主体的に学び、戦争の名の下に行われた行為について関心を持ち、平和を希求する態度を持っている。
現代の日本と世界	11	高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を、国民の生活と関連させて理解させる。 国際社会における日本の役割や、地域社会における個人の取り組みなどに関心を持たせるとともに、将来の社会に期待をいだかせ、社会の一員としての自覚を深めさせる。	民主化政策や憲法制定などの動きについて理解し、その知識を身につけている。 国内外の動きや国際社会における日本の役割を理解し、その知識を身につけている。	現代社会の発展だけでなく、問題点についても公正に判断し、自分の意見を述べている。	地球市民として、世界的な視野を持つ公正な歴史観を持つようとしている。 戦後の日本の歩みについて関心を持ち、当時を知る人々から当時の状況を聞こうとする態度が身につけている。
現代社会と私たち	15	現代社会の特色として、少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解させる。 教科書の資料や自分の体験などをもとに、多面的・多角的な視点で現代日本の特色やグローバル化、情報化について考察し、表現させる。	現代社会の特色を捉えたうえで、現代社会の見方・考え方の基礎の枠組みを理解している。	資料の読み取りから現代社会の特色について考察し、それらの特色が現在と未来に与える影響について、多面的・多角的に考え、表現することができる。	持続可能な社会の実現に向けて私たちに何ができるのかを考え、現代社会にみられる課題の解決を視野に、主体的に現代社会に社会に関わろうとしている。
個人の尊重と日本国憲法	20	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めるとともに、日本国憲法が何を基本的原則としていることについて理解させる。 日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について考察し、表現させる。	日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を原則としていることについて理解している。 国際社会にはどのような人権上の課題があるかを理解する。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重を法の支配などに着目して、対話的な活動を行い、人権について多角的・多面的な視点で考察することができる。	日本国憲法が保障する権利を守るために私たちはどのように社会に関わるべきか、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。

現代の民主政治と社会	28	国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させる。 民主政治と政治参加について、自らの生活に結び付け、現代社会に見られる課題の視野に主体的に社会に関わろうとしている。	国会や議会制民主主義の意義、選挙が果たす役割について、理解している。 地方自治の基本的な考え方について理解し、地方公共団体の政治の仕組みや住民の権利について理解している。	裁判員制度について知り、自らにも起こり得ることと捉え、実践的な活動では資料を的確に読み取って、必要な情報を精査し、争点の整理を行い、公正に判断することができる。	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向け、主体的に考察し、政治に参加しようとしている。 ロールプレイングでは、率先して活動に参加し、主体的に社会に関わろうとしている。
私たちの暮らしと経済	26	身近な消費生活を中心に建材活動の意義や市場経済の基本的な考え方について理解させる。 個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。	消費生活と経済との関わりに気づき、現代の様々な経済活動の働きや仕組みについて理解している。 財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、対話的な活動を行い、多角的・多面的な視点で現代の様々な経済活動について考察し、表現することができる。	市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
地球社会と私たち	20	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から国家間の相互の主権の尊重と協力、また国際機構などの役割が大切であると理解させる。 現代社会に見られる課題の解決を考察するとともに視野に主体的に社会に関わろうとしている。	広い視野に立って、世界には、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの多くの課題があり、その解決のために国際的な相互扶助や国際組織の役割が大切であると理解している。	日本国憲法の平和主義を基に、世界の中での我が国の役割について多角的・多面的に考察し、構想し、他者と意見を交わしている。	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、自分たちにはどのようなことが出来るのか、自らの学習から考え、主体的に取り組もうとしている。
よりよい社会を目指して	6	これまでの学習を振り返りながら、現代社会の課題に対し、考えさせる。 持続可能な社会の実現のために、社会の課題と向き合い、調べたり、まとめたりし、レポートを作成する。	持続可能な社会を実現するための解決すべき社会の課題には、どのようなものがあるかを確認し、理解する。	これまでの学習を振り返り、社会科の探求課題を設定し、社会的な見方・考え方を働かせ、資料を参考にしながらレポートを作成している。	私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら、粘りよく取り組もうとしている。